



口加だより

平成28年8月31日発行
長崎県立口加高等学校
第5号

あやめが丘の窓から

さあ、2学期だ

— 鉄は熱いうちに打て —

校長 下釜 祐保



今年の夏はとにかく暑かった。

本校生は、“夏休み”とは名ばかりで、補習に、部活動に、学習合宿に、オープンキャンパスに、ボランティアに、この期間にしかできないことに熱く取り組んだ。インターハイや全国総文祭、吹奏楽コンクール、上海サマーキャンプなど大きな大会、コンテストなどへ出場した選手や生徒も力強くチャレンジした。

校外に目を向けると、リオデジャネイロ五輪の盛り上がりもまた熱かった。日本選手のメダル獲得数が史上最多で、メダルラッシュに沸いた。本県出身の5選手も大活躍した。さらに、高校生世代の若い選手の奮闘に心を奪われた人も多かったのではないだろうか。そして次は2020年の東京大会ということも関心を更に高めたに違いない。選手らは、口々に東京大会にむけた目標を語っている。

現在高1の池江璃花子選手（競泳）は、初の大舞台（リオ五輪）への出発前、もっとタイムを上げて、世界の選手と戦いたい。目標は生まれ育った東京でのメダル獲得。だが、このリオ大会を経験を積むだけに終わらせるつもりはない、と。

同じく高1の伊藤美誠選手（卓球）は、東京五輪では「今度は団体戦と個人戦に出て、その両方で優勝したい」と出演したテレビ番組で語った。

大舞台で真剣勝負をしているからこそ、全力で一心不乱に熱い闘志を燃やしているからこそそのコメントは力強い。

暑かったこの夏を乗り越え、大きく成長した口加生も同じ思いであろう。上海サマーキャンプに参加した一人は、帰国後の感想に「日本の文化をもっとよく知りたいという新たな意欲が湧いた。そしてそれを伝えるための手段として英語をはじめとした世界の言葉を学び、国境という壁をなくし、たくさんの人と仲良くなりたいという強い願いが芽生えた」と、大きな刺激となった研修経験を記している。

さあ、2学期だ。オリンピック選手らのように、熱く燃えた夏の勢いを新学期につないでほしい。



学年だより

～第1学年より～

今年のオリンピックでは、内村航平選手を中心とする日本の体操競技男子の活躍が注目されました。彼らが目指し続けたのは「美しい体操」。美しさを日々磨き、追究しようとする姿勢が活躍に繋がっているのだと思います。

さて、1年生は7/9(土)に初めて進研実力テストを受験しました。数学が例年と比べて高い水準にあり、全体としてまずまずの成績ですが、国・英の文系教科にまだ伸び白があるようです。英語の場合、日本人の母国語ではないので、とにかく毎日「読む・書く・聴く・話す」機会を作ることが定着に繋がります。

国語は伸ばしづらい教科ですが、英語と同様、日本人は日本語を「読む・書く・聴く・話す」機会が少ないように思えます。使っているようであっても、テレビや日常会話、メールやSNSで用いられている言葉は、安易で乱れた日本語ばかりです。新聞や良書を読んだり、ニュースを読んだり、乱暴な言葉遣いは慎み、敬語や丁寧語を用いるなど、「美しい日本語」に触れようとする日常の工夫が必要なのではないかと思います。

次回進研は10/29(土)。1年生の真剣勝負に期待します。

(1学年副主任 藤本 和弘)

～第2学年より～

継続こそ力なり

4月に赴任してはや5ヶ月、学校・部活動と充実した楽しい毎日を送っています。

さて、私が高校生の頃、当時の先生方がよく言われていたことがあります。それは「何事も6ヶ月続けてみなさい」ということばでした。勉強でも部活動でも、やり始めて6ヶ月経ち、ようやく成績が上向きになってくるということです。試験前や試合前の付け焼き刃では、一時は凌げるかもしれませんが、その先は自分の物にはなりません。やはり向上を目指すには、継続して頑張るしかないわけです。

口加高生徒の皆さん、何事も地道にコツコツ努力をし、その時がやってくる時に、最高の準備をするようにしましょう。頑張り！口加。

(2学年2組副担任 尾崎 淳一)

～第3学年より～

早いもので残暑といわれる季節になりました。今年の夏は合宿に補習にと、今までで最も忙しい夏になったかと思います。学習合宿に参加した人は1日10時間以上の勉強に取り組みました。勉強の合間を縫って各種大会に出場し活躍した人がいました。自ら進んで研修やボランティア活動に参加した人もいました。志望理由書作成や面接練習を始めた人もいます。全体的に進路に対する意識がだんだん高まってきており、非常に頼もしく思います。外では熱い太陽の熱が照り付ける中、皆さんはどれくらい自分の限界に向き合えたでしょうか。

実りの秋の訪れと共に受験も本格化してきます。入試を迎える人、模試で自分の実力を試す人、進路によって内容や時期はさまざまではありますが、この夏の頑張りを是非生かしてください。これからも限界を感じる日が来るかもしれません。きついなと思う時でも、もう一歩二歩耐え抜く精神力、これが大事です。

さて、来週には体育祭が行われます。3年生が一つの成果を示すチャンスです。これからも更なる頑張りを期待します。

(3学年主任 本多 優子)

8月の行事

学習合宿レポート

3年

島原の「ホテル南風楼」にて、5泊6日の日程で7月22日（金）から27日（水）に実施しました。総時間数3,430分、1日10時間超という長時間の学習にも関わらず、一心不乱に学習に取り組む様子を見て口加生の底力を感じました。

そして今年は特に「質問」に積極的でした。全教科を合わせると700件にも及ぶ質問があり、参加した生徒の意識の高さが窺えました。

また、合宿翌日で補習がないにも関わらず、身に着けた学習習慣を継続させたいと登校してきた生徒が少なからずいたことにも合宿の成功を感じました。この経験が、これからの追い込みに活かされるよう、そして、最後まで粘り腰で目標達成できることを期待しています。お疲れ様でした。



1・2年

今年度1・2年生合同で、本校青雲寮にて2泊3日の日程で8月1日（月）～3日（水）に学習合宿を実施しました。合宿では長時間学習の忍耐力を養うこと、そして弱点科目の克服はもちろん得意科目の伸張を目的とし取り組みました。総学習時間が1300分にも及び普段とは違う環境の中、参加した生徒たちは真剣な表情で、それぞれの学習に集中していました。夕食では、母の会をはじめ参加生徒の保護者の方の協力のもと、カレーライスやサラダうどんを美味しくいただき、学習への活力としていました。合宿を通じて寝食を共にすることで先輩後輩や友人、教師との相互理解を深めることができました。



今月の生活創造コース

○6日（土）図書館お話し会ボランティア（2年生）
今年度2回目となるお話し会を開催しました。



10日（水）・11日（火）

第63回長崎県高等学校家庭クラブ連盟総会・研究発表大会・第65回全国高等学校家庭クラブ研究発表大会（プレ大会）が長崎ブリックホールで開催され、2年生2名の生徒が参加しました。今回の大会は、来年度に開催される全国大会のプレ大会も兼ねており、県内各校の家庭クラブ員がそれぞれ担当する業務に分かれ、手順や業務の確認を行いました。本校は、代議員会・総会の書記を担当しました。

オープンスクール

8月8日（月）、オープンスクールが行われました。各中学校から多数の生徒が参加し、数学の“先読み”ラーニング、EZ教室体験、国語・社会・理科・体育・音楽などの授業を見学しました。生徒会を中心に中学生向けの学校紹介ビデオを作成したり、教室を可愛く飾りつけたり、部活動で中学生のお世話をしたりするなど、生徒のさまざまな協力により1日を終えることができました。



平和学習

8月9日（火）、平和学習が実施されました。日常生活の中で、改めて“平和”とは何なのか、一人ひとりが考えることを目的とし取り組みました。今年は校長先生から講話があり、その後長崎平和記念式典の様子を中継で視聴しました。ほとんどの生徒が初めて式典を見るということで、厳粛な雰囲気で見送を見ていました。教室では、付箋に平和へのメッセージを書きクラスごとに掲示しました。



進路ガイダンス

8月23日（火）、1年生対象に進路ガイダンスがありました。南島原警察署、口之津市役所、新田鉄工所、玉峰保育園、哲翁病院等に出かけ、進路選択に向けてそれぞれの職業に関する基礎・基本の知識を学びました。また、仕事とは何であるか、職業において大切なことは何かなど、実社会の先輩方から貴重なお話を伺うことができました。

出張講座

8月23日（火）、長崎大学より5名の先生方と、株式会社さんぼうより2名の専任講師に來校してもらい、2学年を対象として、経済学・教育学・環境科学・工学・医学・専門学校・公務員講座を実施しました。自分の進路希望を深めるだけでなく、新しい知識に触れるチャンスとなり、生徒たちは真剣な表情で聞き入っていました。

職員ペンリしー

“自分の過去の経験から”

一松本 辰哉

私は高校生の頃、「努力しても必ず成功するとは限らない。でも成功した者は必ず努力をしている。」と信じていました。しかし、やはり高校生です。大きな失敗や挫折を経験すると、この言葉を最後まで信じることができませんでした。頑張ることをやめ、腐った時期がありました。そして、ふと気づくと「俺はこんなんでいいのか？」と自問自答する日が続きました。ある日、もう一度一生懸命頑張ってみようとして自分を奮い立たせ、努力を始めましたが高校生の時のようにはいきません。「もっと頑張れたはずなのに・・・」と感ずることばかりでした。

私は基本的に後悔をしません。何があっても、自分にとって最高の選択・最高の出会い・最高の結果だと思っています。しかし、この腐った期間だけは後悔しています。高校生のみなさん、今を一生懸命頑張ってください。努力は必ず実ります。結果がその時出るかどうかが分からないだけです。漠然とでも夢を持ち続けていれば何となく叶っていきます。神様を信じましょう！

部活動試合結果報告

【吹奏楽部】第54回長崎県高等学校音楽コンクール 声楽部門

3-2 多比良 美弘 **金賞** : 金賞でしたが、全国大会、九州大会の代表まであと一歩でした。悔しいですが、次の大会で良い結果を残せるように頑張ります。

2-4 本多 みなみ **銅賞** : 予選通過し、翌日の本選ではとても緊張しました。結果は悔しかったですが、貴重な経験になりました。

【野球】 新人戦 パート3位 島原工業 4-8 負け 島原高校 5-6 負け
大村工業 5-2 勝ち 鎮西学院 15-8 勝ち（8回コールド）

【バレー】 長崎県バレー協会長杯 ベスト16 予選① 口加 2-1 佐世保西 予選② 口加 2-1 佐世保南
パート決定戦 口加 0-2 鎮西学院

